エアーリベッター　GP101＆102Ｋ
取扱説明書

● ご使用になる前に・・・

使用するリベットサイズに合ったノーズピースとジョウ及びジョウケース、ジョウプッシャーに交換して下さい。
サイズが合わない時は、リベットのカシメやリベットシャフトの切断が出来ません。
必ずサイズに合うものに交換して下さい。

GP101は出荷時、4mm以上のリベット用のジョウ及びジョウケース、ジョウプッシャーがセットされています。
GP10１で4mm以下のリベットをご使用の際は、付属パーツの
Item NO, 03A　ジョウケース（2.4 ～ 4.0ｍｍ）用
Item NO, 0.4A　ジョウ（2.4 ～ 4.0ｍｍ）用
Item NO, 05A　ジョウプッシャー（2.4 ～ 4.0ｍｍ）用
に付け替えて１Ｄ～１Ｆのノーズピースをご使用のサイズに合わせて付け替えてご使用下さい。
（Item NOに付きましては、別紙パーツリストをご参考にしてください）
※ GP102Kの場合ノーズピースのみ交換となります。（2.4mm、3.2mm、4.0mm、4.8mm）

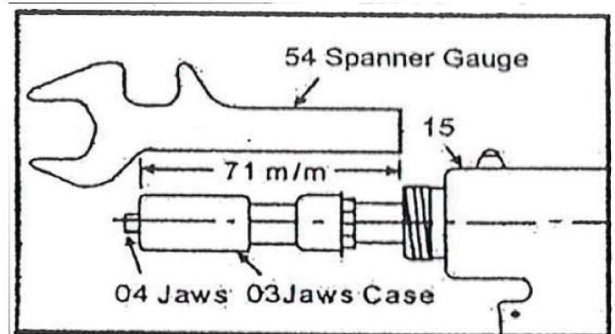
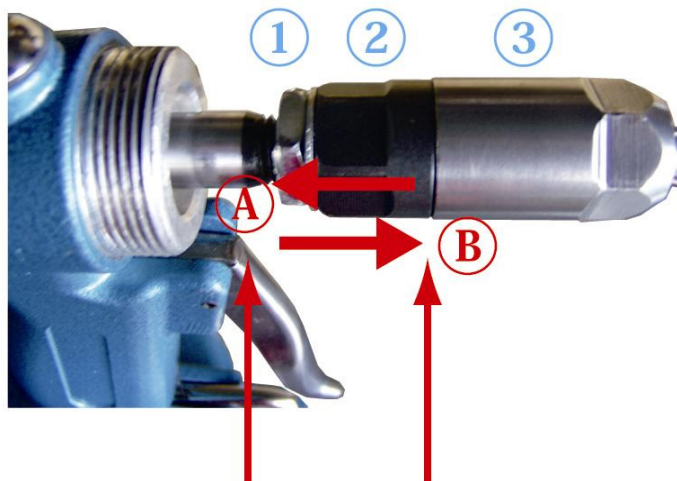
● リベッティング作業時の使用方法

エアーコンプレッサーからのエアーを使用して下さい。使用空気圧は６～８㎏ /ｃ㎡の範囲で使用して下さい。
高すぎたり低すぎたりすると、各部の破損、及びリベットシャフトの切断が出来ない場合があります。
ノーズピースにリベットのシャフトを差込みレバーを引くとリベットのカシメができます。
リベットのカシメが終わりましたら、リベットを傾け前または、後ろから切断したシャフトを排出して下さい。

ジョウ交換時及びメンテナンス後にジョーケースの全長調整をして下さい。

例：GP102Kの場合

54 Spanner Gauge
15
71 m/m
04 Jaws
03Jaws Case

GP102K ジョウケースの全長調整
リベッター本体よりジョウケース先端までの長さを
71mm までにして下さい。
右図のように、
付属品の54番　スパナゲージで
サイズの確認ができます。

GP101 ジョウケースの全長調整
リベッター本体よりジョウケース先端までの長さを
74mm までにして下さい。
ＧＰ１０１はジョウ、ジョウケース、ジョウプッシャーが２種類あります。
使用するリベットに応じて上記３点を交換して下さい。
目安としてリベット径４mm以下は０３Ａ、０４Ａ、０５Ａに交換して下さい。
それ以上のサイズは０３、０４、０５に交換して下さい。（パーツリストをご参照下さい）

リベットをつかまない場合は、ジョウのサイズ違い、ジョウの歯部の目詰まり、磨耗等が考えられます。
リベッティング作業を長時間行いますと、シャフトの切粉等でジョウ歯部の目詰まりが生じたり、ジョウの円滑性が損なわれますので随時メンテナンスを行って下さい。
それでもリベットをひかない場合は、付属工具でアジャスターの調整をして下さい。

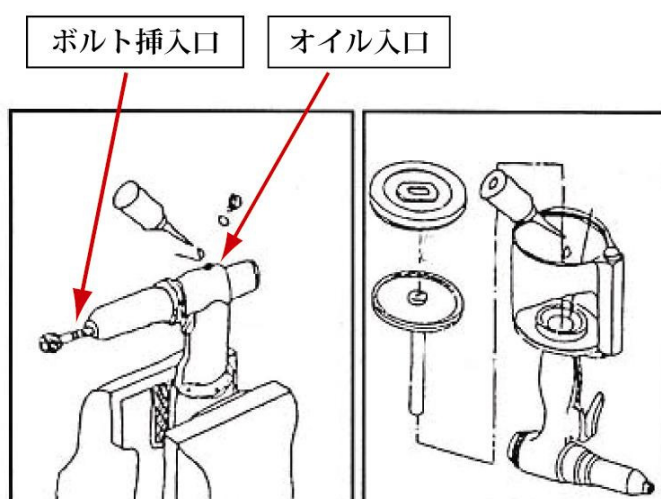
＜全長調整方法＞

ジョウケースのナット①②を緩めて位置を変更して、No.02 ノーズハウジングを取り付けると、ジョウの開き幅が変わります。
A 側にずらすとジョウの開き幅が小さくなります。
B 側にずらすとジョウの開き幅が大きくなります。
調整は、2 ～ 3mm ずつ調整して作動確認して下さい。

＜ジョウ交換方法＞

ジョウケースのナット②③を緩めてジョウを取り出します。
新しいジョウと交換して、ジョウ背部に潤滑オイルを注入してから組みつけて下さい。

＜作動油の補給・入れ換え＞

この作業を行う時は、必ずフレームヘッド部（プラグパーツ、O リング）を本体から取り外します。
先端のノーズピースを取り外します。
付属のパーツ NO.49 のボルトを先端に挿入して下さい。
オイル入り口からの補給をして下さい。
作動油補給の時期に付きましては、ピストンのストロークが 1 mm 以上減少した時に行って下さい。

輸入販売元
有限会社ラグナ
山口県周南市大字久米 3076-3
TEL　0834-36-1300
FAX　0834-36-0550